



押仲  
神山町会長題字

【祭礼を終えて】



押上一丁目仲町会  
町会長 沖山 泰則

今年、自粛ムードの風潮の中で祭礼自体を取りやめたり、大人神輿の巡行だけを中止したりと各町会の実施内容にはさまざまな意見が飛び交っていたようでした。

私達の町会も当初は大人神輿の巡行だけを取りやめる事にしておりましたが、結局全町会が一致して大人神輿の巡行を実施する事になりました。

さて、巡行当日は担ぎ手のほとんどは仲町会の有志、その友人達だけで足りぎりの人数でした。少し不安に思



神酒所

押上一丁目仲町会広報部

編集責任者 山本 勝信

第五十号

平成二十三年九月三十日

ましたが担ぎ始めると「痛ーえ！」「きついよー！」など悲鳴を上げながらも目的の神酒所まで担ぎ納めてしまっただけです。

私は皆さんの顔が達成感に満ち溢れそして安堵の笑顔が素晴らしいと思えました。陸連の協力による巡行も素晴らしいとは思いますが、今年のような町会独自の手作りの巡行も終わってみれば充実感があつて素晴らしいと感じました。

祭礼中は好天に恵まれた祭礼でした。受付を担当のOSTの皆様、縁の下で支えた総務、会計、大声を出し続け祭りを盛り上げた大小神輿、太鼓の役員、車に気を配りみんなの安全を見守ってくれた交通部、踊りや舞台を如何に盛り上げるか工夫された演芸部等の皆さん、そしてさらに祭礼の実施にあたって暖かいご理解とご協力を賜ったご近所の皆様方のおかげをもちまして無事に祭礼を終える事が出来ました。祭礼終了にあたり仲町会の皆様にご心より感謝申し上げます。

【祭礼 御礼】

祭礼委員長 大橋由明

平成二十三年飛木稲荷神社の祭礼にあたり、町内の皆様には、ご奉納、ご支援、ご協力を賜わり誠に有難うございました。お陰様で大変盛大に祭典を執り行うことができました。篤く御礼を申し上げます。

初めての祭礼委員長という大役を仰せつかり、戸惑いと不安の中



大人神輿役員勢ぞろい

から祭礼準備が始まりました。沖山泰則町会長のご指導と叱咤激励を受けながら辛うじて大役を無事果たすことができました。誠に有難うございました。また、祭礼委員会の各委員の方達や名誉委員である先輩役員方やOST、婦人会、こども会の皆様に置かれましては、祭礼準備から当日の三日間まで本当にお疲れ様でした。

初日の神酒所建設に始まり神酒所祭壇、大人神輿、子供神輿、太鼓山車等の入魂修祓式（宮司による御祓い）で祭礼行事のスタートです。夜には、宵宮で夕食を摂り、祭礼踊りで楽しく始まり

ました。

翌日には、少子高齢化の中で開催されました子供神輿、太鼓山車行列が神社参拝の後、町内巡行を執り行い、昼前には、神社にて祭礼式典が執行され神社責任役員が多賀和弘、氏子総代の沖山泰則町会長、宮総代の細川勝也、高橋邦夫と小職が、それぞれ、黄色着物と浅葱色の袴着用で参列いたしました。夕方から、祭礼模擬店と祭礼演芸があり、最終日の十一日（日）には、大人神輿の町内巡行を挙げるにあたり、祭礼の最大イベントとなりました。

私の考え方として、祭礼委員長とは、祭礼のプロデュース（企画・制作）をする者で、祭礼行事の執行については祭礼各担当部長がディレクター（演出・監督）をお務めになり、楽しく行事を展開していただきました。また、祭礼委員長として、皆様にご迷惑をおかけしたり、気使いの無い面等でご不便やご不満もあつたことと思いますが、紙面をお借りして、謝罪いたします。何卒ご容赦賜りたくお願ひ申し上げます。

なお、祭礼期間中、事故や怪我人、病人等もなく、祭礼会計報告書も発行されて無事に終了し、本当に楽しい祭礼でした。

【大人神輿】

峯岸 壮吉

今年、大人神輿を出すかどうか、東日本大震災に配慮し、一旦六月には自粛の方針が決まっていたところ、飛木稲荷神社の役

員会にて、十三町会が大人神輿を出すことで、世の中に漂う不景気風を吹き払おうという事になったとの事、急遽七月の役員会にて、大人神輿を出す事が決定しました。

そこで、責任者を担当する事が決まり、慌しく、関係役員の人選、当日のスケジュール決定、さらに、役員さんにお願ひして担ぎ手の募集や勧誘を行いました。

大人神輿は九月十一日の午前十時からスタートする事に決まったものの、当日までどのくらい人数が集まるかハラハラドキドキ、気が気ではありませんでした。

そして、当日の朝、町内の若手の皆さんをはじめ、役員の方々が続々集まって来るではありませんか。

神酒所に集まる一人一人の姿を見ることができ、「これで大人神輿を担ぎ出すことができる」と内心叫びたくなる興奮に見舞われ、このような気持ちは大人神輿の責任者にならな



大人神輿の町内巡行

いと味わえないものではないかと一人納得していました。

当町会は小さな町会で、町会員同士のまとまりがあり、皆さんからご協力頂けたので、大人神輿を出すことができたのではないかと実感した次第です。

担ぎ手の皆さんは大変疲れたと思いますが、天気にも恵まれ、すがすがしい汗を流していただけたのではないかと思います。

何分、今まで、大人神輿の責任者としての経験もなく、皆様のご指導のお蔭で、何とか事故もなく行うことができました。この場を借りてお礼申し上げます。



押上南町会の大人神輿と遭遇

### 【 婦 人 会 】

大泉 弘子

町会の皆様には、婦人会の活動にご理解・ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

この度の飛木稲荷神社の祭礼に際し、皆様の応援を頂き、無事終わる事が出来ました。ありがとうございました。本年は、横の線の絆もより深まり模擬店も楽しく賑やかに出来ま

した事に嬉しく思っております。大震災から六ヶ月が過ぎて、少しずつではありますが、ようやく周囲から笑顔も見られるようになっていませんか？

震災直後、不安と悲しみで目の前は暗く心は灰色でした。このお祭りですごく「がんばろう・日本！」と思っただ方々もいらつしやったのではないのでしょうか。一日も早い復興を祈らずにはいられません。

私達自身も、いつも笑顔で・心に太陽を燃やして過ごしていきたいものです。末筆ですが、祭礼踊りを教えていただきましたOSTの皆様に感謝申し上げますと共に来年も宜しくお願い致します。又、皆様のご意見・ご希望がありましたらお知らせ下さいませ。



子供神輿の役員と子供たち

### 【 しらとり子供会 】

古山 統子

今年も牛嶋神社の祭礼と飛木稲荷神社の祭礼が一週差の日程という初めての経験でした。現在しらとり子供会は、お隣の押上一丁目子供会と登校班を合併させて頂き通学しています。そのご縁でお祭りのお誘いをさせて頂いたところ、たくさん子ども達が御神輿に参加してくれました。その日は押上小学校が月に一度の土曜授業と重なっていた為、押一の皆さんのご協力なしでは子供神輿も上がらなかつたのではと、みんなが頼もしく思えました。

三十度を超える残暑の中を、午前・午後と担ぎに来てくれ、夜の演芸にも参加してくれた方もいました。週明けにお礼を言うのと、とても楽しませてもらった」と逆にお礼の言葉を頂けた事に胸をなで下ろしました。そして翌週は牛嶋のお祭りに参加させて頂きました。これは、半年前震災の直後には想像もできなかった事です。神社・地域・お祭りに対



子供会会員

しての意味を改めて考えさせられ、いつも以上に「どうかみんなに災いが起きませんように」とお祈りをし、神社では御払いを受けました。そして今年もまた婦人会の皆様には模擬店をはじめ、大変お世話になりました。また子供神輿・山車をはじめ、たくさんの方々に子ども達がお世話になり、笑顔あふれるお祭りになったことに感謝をし、この場をお借りしましてお礼申し上げます。

### 【 O S T 】

多賀 左知子

猛暑の日々の中、九月六日ぶどう狩りに出掛けました。雨が続いていたので、雨具もすっかり用意して総勢十一名が出掛けました。涼を求めての謳い文句、八ヶ岳・清里高原の工程です。途中トルマリン工場、ワイン工場（試飲あり、ポトルのお土産付）見学し、いよいよ巨峰狩りでぶどう園の棚の下へ入って行き、甘いぶどう（種無し）なので食べ放題。次は昼食なのであまり食べてはと切り上げ昼食へ。鳥もつ煮鍋きのこの陶板焼きそば等。沢山頂涼しい風を体感し東京へ帰りたくなくなりました。帰りは沢山の野菜のお土産沢

山頂き（キャベツ、レタス、とうもろこし、きゅうり等）暑い東京へ皆元気で帰ってきました。

九月七日は昨日の疲れもどこえやら輪投げ大会です。十二名参加。間際になってからの練習をしても、とても難しいです。午前中で終了。一寸の運動でも少しづつして健康を保つのではないのでしょうか。

九月は色々行事があり、九日からの祭礼ではOSTは受付のお手伝いをい

たしました。次は十三日。曳舟文化センターで「おとうと」と云う映画の鑑賞会がありました。百円は社会福祉協議会に寄付をするのですが、一般にも公開しテレビでも見た方が多く、あまり参加者がいらつしやらなかつたです。



祭礼演芸にてOSTのコーラ

### 【 編 集 後 記 】

なんと今回発行の町会新聞で、通算五十号を迎える事になりました。まさかここまで続くとは思いませんでしたが、これも毎号ご覧頂く町会員の皆様のお蔭と深く感謝致します。新聞発行の素人が何も分からず始めた町会新聞ですが、カラー印刷発行や町会ホームページにも掲載するなど随分変化しました。東京スカイツリーの話も加わり、押上が少しずつ変わり始めました。これからは押上からの情報発信が必要になります。まだ「休刊の噂」も無く、暫らくは続きそうですので、どうか町会新聞にお付き合い下さい。